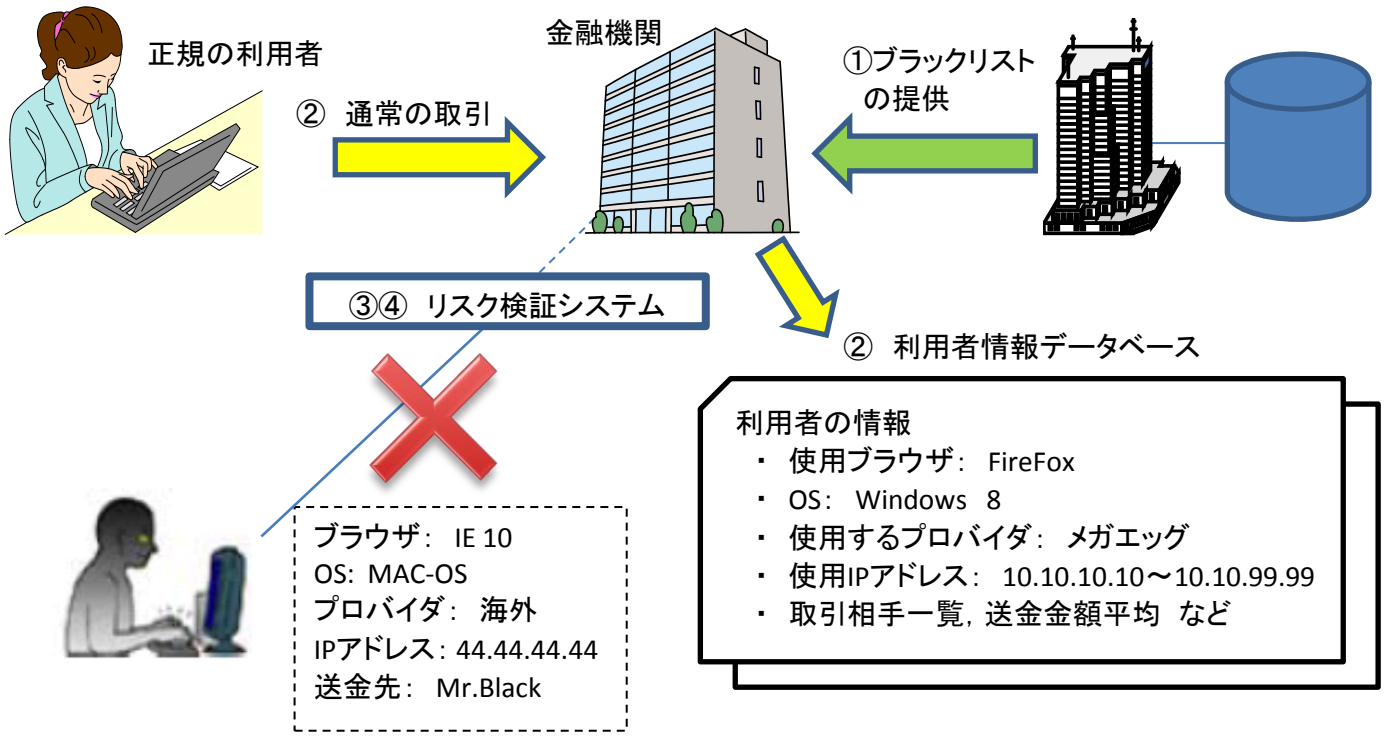
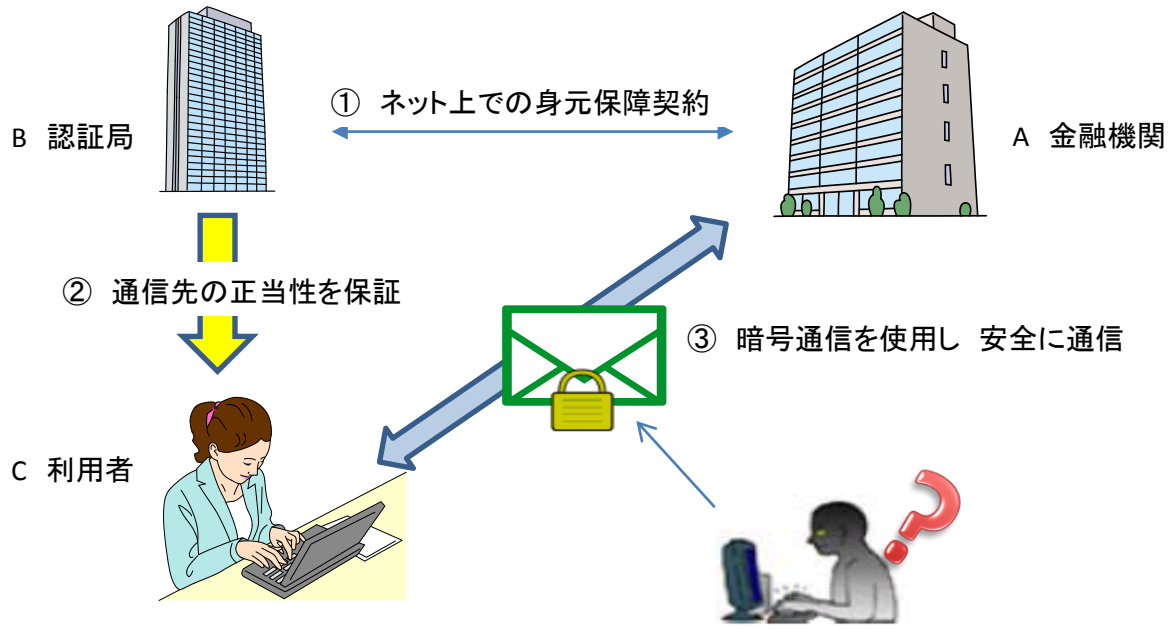


① 金融機関は，不正なIPアドレス/口座情報などの提供を受ける契約を結ぶ。
② 金融機関は，正規利用者との通信で取得したデータを蓄積する。
③ リスク検証システムが，通常の取引と異なったパターンを検出し，リスクを数値化する。
④ リスク値によって，再認証の実施，取引を拒否，管理者への通知などの動作を行う。

リスク検証システム



① 予めA金融機関とB認証局間で，BはAのサイトの真正性証明をする契約を結ぶ。
② 利用者Cは，A金融機関をアクセスする前に，B認証局に真正性を問い合わせる。
B認証局は，C利用者に対しA金融機関の真正性を保証する。
③ C利用者は，安心してA金融機関をアクセスできる。（なりすましの排除）
この際，お互いに暗号通信を行うことで更なるセキュリティを確保する。

サイト認証・暗号通信